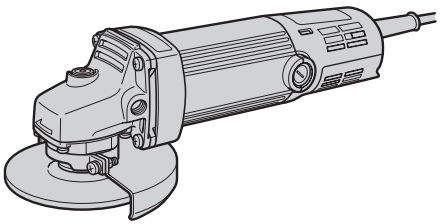
取扱説明書　Hitachi Koki

日立ディスクグラインダ

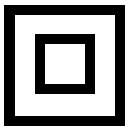
FG 10SB3

このたびは日立家庭用ディスクグラインダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



トイシ径 100 mm

二重絶縁



HITACHI

目　次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	1 〜 4
● 二重絶縁について	
ディスクグラインダの使用上のご注意	5 〜7
各部の名称	8
● 付属品	
用　途	9
ご使用前の準備	9
ご使用前の点検	10
使いかた	11 〜13
別売部品	14〜19
点検、手入れについて	20
仕　様	20
アフターサービスについて	21・22

⚠警告 、⚠注意 、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： **誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ： **誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警 告

① **作業場は、 いつもきれいに保ってください。**
- **ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。**

② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
- **電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。**
- **作業場は十分に明るくしてください。**
- **可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。**

③ **感電に注意してください。**
- **電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。**
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ **子供を近づけないでください。**
- **作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。**
- **作業者以外、作業場へ近づけないでください。**

…電動工具の安全上のご注意

⚠ 警　告

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

… 電動工具の安全上のご注意

⚠ 警　告

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口に依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
- 屋外で継ぎ(延長)コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⚠ 警　告

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお申し付けください。
  ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

■二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めのディスクグラインダは二重絶縁をしてあり、銘板に ⧈ マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。

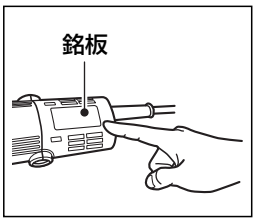
ディスクグラインダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

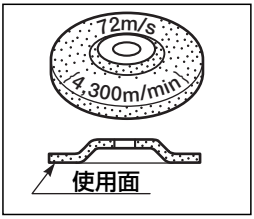
① 

② **ホイルガードは、必ず取付けて使用してください。**

トイシやダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。

③ **使用するトイシ（レジノイドトイシ）は、最高使用周速度 72 m／s｛4,300 m／min｝以上の正規のトイシを取付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。**

正規以外のトイシを使用したり、また側面や上面で研削すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。（トイシ寸法は、 20 ページの仕様欄をご参照ください）

③ 

④ **トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**

異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

⑤ **使用中、振り回されないよう機体を確実に保持してください。とくに始動時は気をつけてください。**

確実に保持していないと、けがの原因になります。

⑥ **水、研削液などは使用しないでください。**

乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

⚠ 警　告

⑦ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。

トイシやダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。

⑧ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。

⑨ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。

火災ややけどの原因になります。

⑩ トイシを用いて切断作業をする場合は、切断トイシを使用してください。

切断トイシ以外のトイシは、けがの原因になります。

⑪ 切断トイシを使用する場合は、切断トイシ専用のホイルガード（切断用）、ホイルナット（切断用）を取付けてください。

切断トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

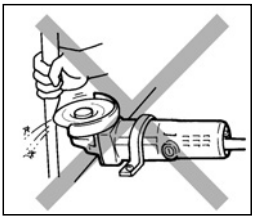
⑬ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

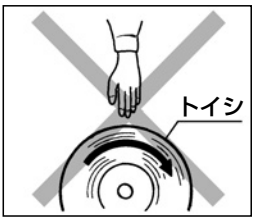
⑭ 誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

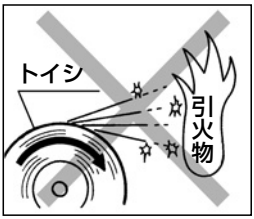
⑦ ⑩



⑧



⑨



⑫

…ディスクグラインダの使用上のご注意

⚠ 注　意

① **工具類（トイシなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**

確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時身体を避けてください。**

トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

③ **試運転を励行してください。**
試運転時間は 12 ページの「試運転をします」の項をご参照ください。

試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。

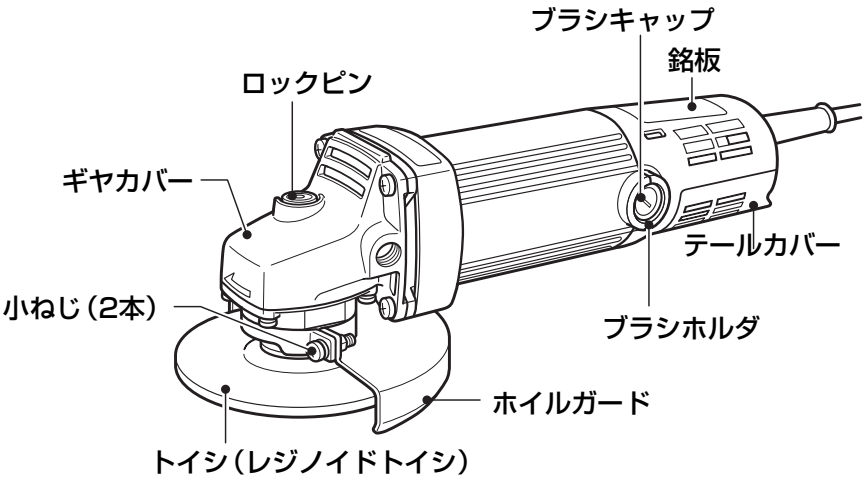
④ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
また、コードを引っかけたりしないでください。

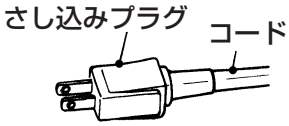
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

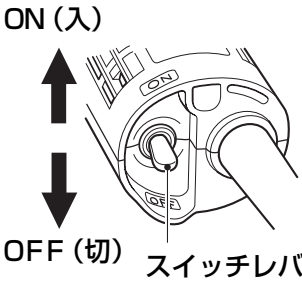
⑤ **指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。**

丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

各部の名称



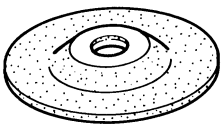




形状などの一部を変更している場合があります。

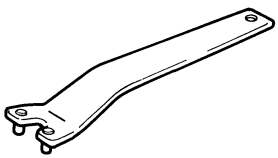
付属品

トイシ（レジノイドトイシ）　1枚



外径 100 ×厚さ 4 ×穴径 15（㎜）

スパナ　1個



用　　途

金属、石材などの研削

○ 鉄、鋳鉄などのバリ取り・仕上げ
○ 溶接、溶断部の研削、サビ落とし
……
- レジノイドフレキシブルトイシ
- レジノイドトイシ
- ディスクサンダ
- フレキシブルトイシ

○ 鉄材の切断……切断トイシ
○ 鉄材などの表面仕上げ・ペンキはがしなど…
- カップワイヤブラシ
- ベベルワイヤブラシ

○ カワラ、タイル、石材などの溝入れ……ダイヤモンドホイール（乾式用）

ご使用前の準備

作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●継ぎ（延長）コードを用意します

⚠ 警　告

• 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

導体公称断面積	最大の長さ
1.25 mm²	15 m
2 mm²	25 m
3.5 mm²	45 m

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

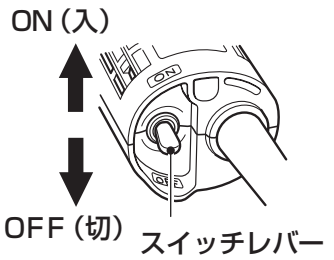
ご使用前の点検

⚠ 警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

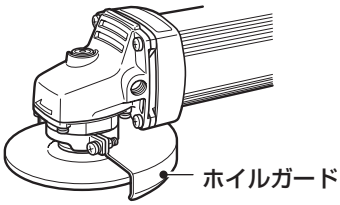
1 スイッチが切れていることを確かめます

スイッチが入っているのを知らずに、さし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。
スイッチはスイッチレバーをON（入）側に倒すと入り、OFF（切）側に倒すと切れます。



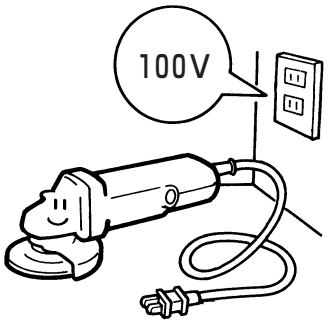
2 ホイルガードを確認します

ホイルガードはトイシなどが破損したときの保護のためです。必ず取付けてください。



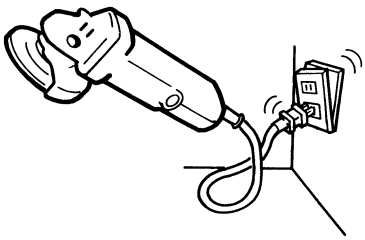
3 電源を確かめます

お求めのディスクグラインダは100 V用です。200 V電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、トイシおよび機体が破損するおそれがあります。
また、直流電源で使用しないでください。ディスクグラインダの損傷をまねくだけでなく危険です。



4 コンセントを確かめます

電源コンセントががたついたり、さし込みプラグがすぐ抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



準備をします

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

- ホイルナットは、必ず付属のスパナを使って十分に締付けてください。

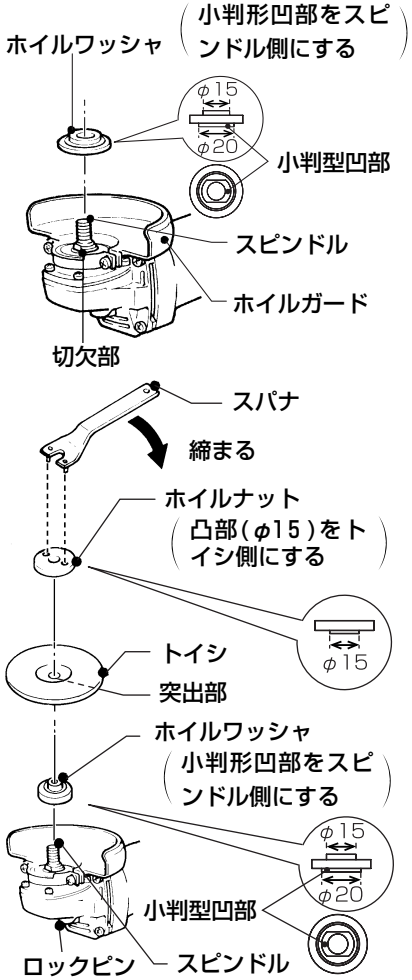
1 先端工具を選びます

バリ取りや研削・さび落しなど用途に合った先端工具を選びます。
付属のトイシ（レジノイドトイシ）は ト粒の種類Ａ、粒度＃36 の一般鋼材研削用です。
トイシやその他の先端工具は 14 ～ 19 ページの「別売部品」の項をご覧ください。

2 トイシを取付けます

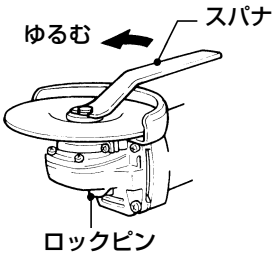
(1) スピンドルを上に向け、ホイルワッシャの小判形凹部をスピンドルの切欠部に合わせて取付けます。
(2) ホイルワッシャの上にトイシの突出部が当たるように入れます。
(3) トイシの上からホイルナットの凸部(φ15)をトイシ側にしてスピンドルにねじ込みます。
(4) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。
(5) ロックピンから手を離すと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されます。

注 • ロックピンを押して離したときに、確実に戻ることを確認してください。



3 トイシのはずしかた

取付けかたと逆の手順で行ないます。



● トイシの取替えどき

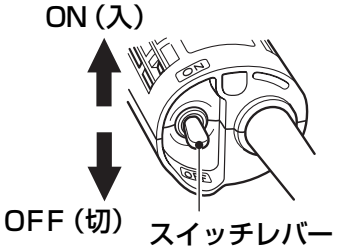
トイシの外径が 60 ㎜ぐらいまで摩耗しましたら新品と交換してください。

スイッチを入れます

⚠ 警　告

- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

スイッチレバーをON（入）側に倒すと入り、OFF（切）側に倒すと切れます。



試運転をします

⚠ 注　意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
  接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。

人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転をし、異常がないことを確認します。

試運転時間

トイシを交換したとき……3分間以上

その日の作業始めのとき ……1分間以上

作業をします

⚠ 警　告

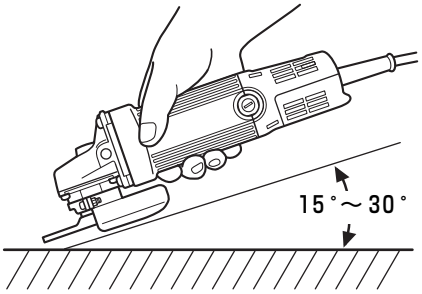
- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。
  万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

注 • モーターが回転中には、ロックピンを押さないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。

● 研削をします

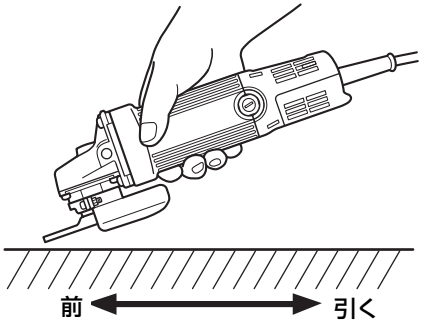
○ トイシは研削面に軽く押しつけて研削します。
強く押しつけますと、作業能率が悪くなり、モーター焼損の原因になります。

○ トイシは全面を当てないで外周部で研削します。研削面に対し 15 ° ～ 30 ° 傾けて使用します。



○ トイシが新しいときは前方へ押さないで引くようにして使用します。
トイシの角が消耗したらどちらに進めても結構です。

○ 使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。
回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。



別売部品

日立電動工具販売店でお求めください。（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

⚠ 警　告

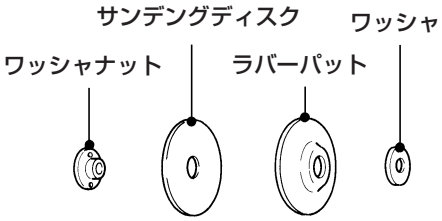
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 別売部品を使用の場合も、必ずホイルガードを取付け、保護メガネを使用してください。

1　100 mmサンデングディスク

○ 研削量が少なく仕上げ面をきれいにしたいとき、塗装面の下地みがき、さび落し、塗料落しなどに用います。

○ 粒度はP16、P20、P24、P30、P36、P40、P50、P60、P80、P100、P120の11種類ありますので、ご要求の際は適当な粒度をご指定ください。

○ サンデングディスクをご使用になるときは、ワッシャナット、ラバーパット、ワッシャを一緒にお買い求めください。



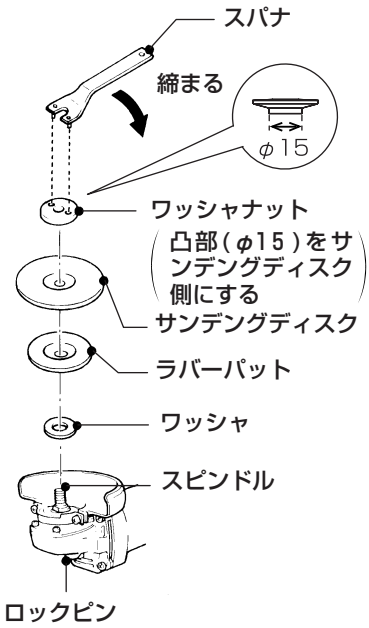
取付けかた

（この場合は付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットは使用しません。）

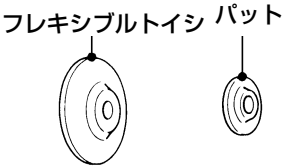
(1) スピンドルにワッシャ、ラバーパット、サンデングディスクの順に取付けます。

(2) サンデングディスクの上からワッシャナットの凸部(φ15)をサンディングディスク側にして、スピンドルに取付けます。

(3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでワッシャナットを十分に締付けます。



2 100 mm フレキシブルトイシ



○ 柔軟性をもったトイシで、作業中の衝撃が少なく、レジノイドトイシによる重研削と、サンデングディスクによる上仕上げの中間仕上げに適し、高能率を発揮します。
○ 粒度は＃36、＃46、＃60、＃80、#100、#120 の6種類ありますので、ご要求の際は適当な粒度をご指定ください。

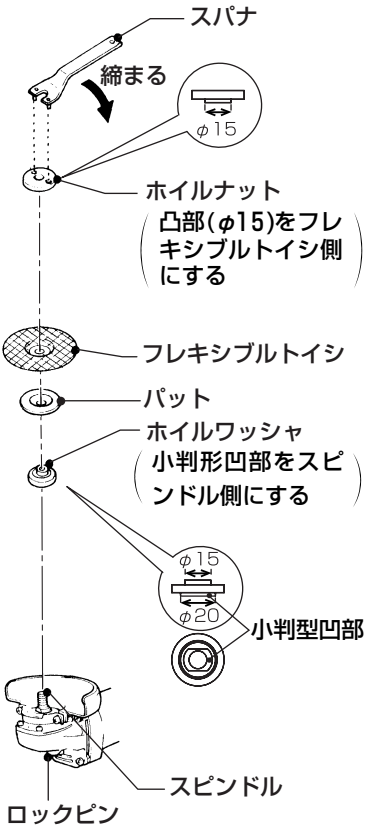
取付けかた

（ホイルワッシャ、ホイルナットは付属のトイシ取付け用と同じです。）

(1) スピンドルにホイルワッシャをトイシ取付け時と同様に取付け、パット、フレキシブルトイシの順に取付けます。

(2) フレキシブルトイシの上からホイルナットの凸部(φ15)をフレキシブルトイシ側に向けて、スピンドルに取付けます。

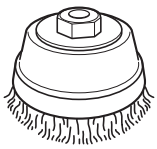
(3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



3 75mmカップワイヤブラシ（より線）

○ 鋳物、構造物、タンク、車体、鉄板などの表面仕上げ、またはペンキをはがすのにサンデングディスクの代りに用いると有効です。とくに仕上げ面が平らな場合能率的です。

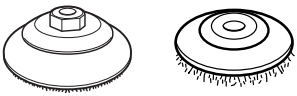
ねじ式



4 95mmベベルワイヤブラシ（より線）

○ カップワイヤブラシと同じ目的に使用されますが、特に凸凹が激しい面や、隈の部分または溝の底などを仕上げる場合に外周部を使用し、能率を上げることができます。

ねじ式　　穴　式



○ カップワイヤブラシ（ねじ式）、ベベルワイヤブラシ（ねじ式）の取付けかた

両方とも、トイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットは使わず、直接スピンドルに取付けます。

○ ベベルワイヤブラシ（穴式）の取付けかた

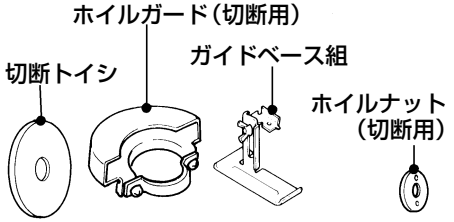
付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットを使い、11 ページの「2 トイシを取付けます」の項の要領でトイシの替わりにベベルワイヤブラシ（穴式）を取付けます。

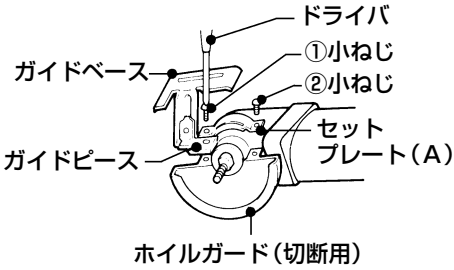
5　100 ㎜切断トイシ

注 • モーター焼損の原因になるので、1回の切込み量は5㎜以下にしてください。また、回転数が低下しないように送り速さを加減しながら、無理な力をかけないようにして使用してください。

○ 切断トイシは金属用と非金属用の2種類あります。
鉄などの切断には金属用切断トイシをご使用ください。

○ 切断トイシをご使用になるときは、ホイルガード(切断用)、ホイルナット(切断用)、ガイドベース組を一緒にお買い求めください。(ガイドベース組はダイヤモンドホイル用と共通です。)





取付けかた

○ ガイドベース組の取付けかた

切断トイシのときはホイルガード(切断用)を使用します。

(1) ホイルガードの小ねじ(2本)をゆるめます。

(2) ガイドピースをホイルガードとセットプレート(A)の間にはさみ込み、①小ねじを十分締付け、動かないように固定します。

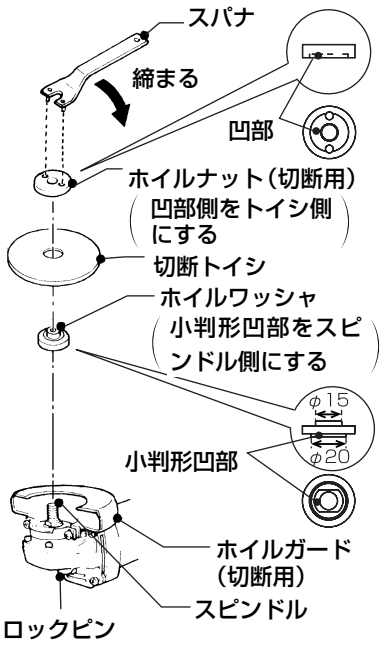
(3) ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし、②小ねじを十分に締付け、ホイルガードを固定します。

○ 切断トイシの取付けかた

(1) スピンドルにホイルワッシャ、切断トイシの順に取付けます。

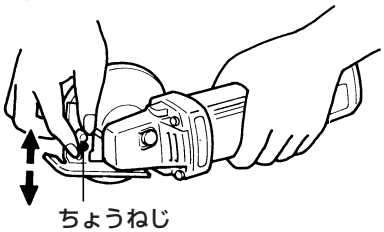
(2) 切断トイシの上からホイルナット(切断用)の凹部を切断トイシ側に向けてスピンドルに取付けます。

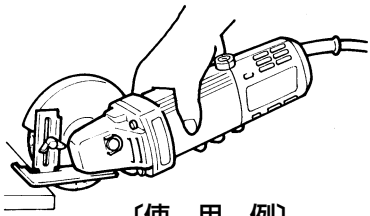
(3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナット(切断用)を十分に締付けます。



○ 切込み量の調整と使用例

ちょうねじをゆるめて、
切込み量を調整します。





〔使　用　例〕

6 ダイヤモンドホイール（乾式用）

⚠ 警　告

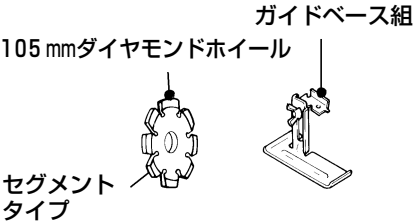
- ダイヤモンドホイールは当社指定の別売部品（外径 105 ㎜、穴径 20 ㎜のもの）を使用してください。
- ご使用前に、必ずダイヤモンドホイールにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。

⚠ 注　意

- トイシと同様に試運転を行なって、異常がないことを確認してください。
  （12 ページをご参照ください）

注 • モーター焼損の原因になるので、１回の切込み量は5㎜以下にしてください。また、回転数が低下しないように送り速さを加減しながら、無理な力をかけないようにして使用してください。

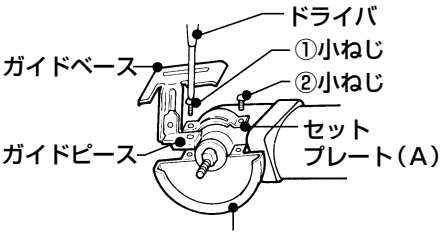
○ カワラ、タイル、石材などの溝入れに用います。
○ ダイヤモンドホイールは乾式用をご使用ください。
○ ダイヤモンドホイールをご使用になるときは、ガイドベース組を一緒にお買い求めください。（ガイドベース組は切断トイシ用と共通です。）



取付けかた

○ ガイドベース組の取付けかた

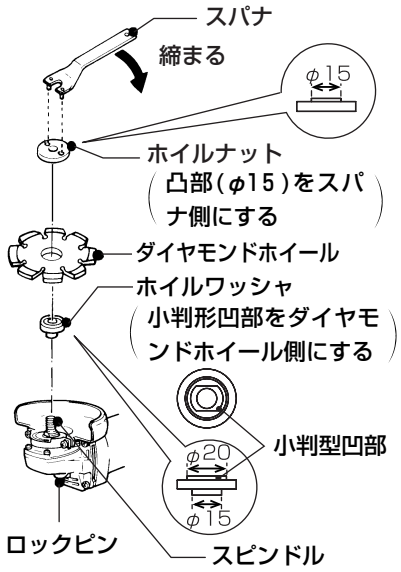
(1) ホイルガードの小ねじ(2本)をゆるめます。
(2) ガイドピースをホイルガードとセットプレート(A)の間にはさみ込み、①小ねじを十分締付け、動かないように固定します。
(3) ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし、②小ねじを十分に締付け、ホイルガードを固定します。



○ ダイヤモンドホイールの取付けかた

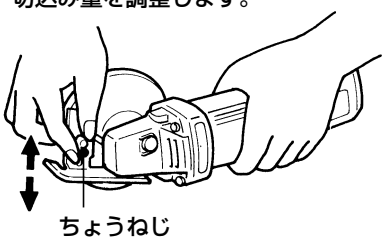
付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットを使用しますが、どちらも付属のトイシ取付け時と向を逆にして使用します。

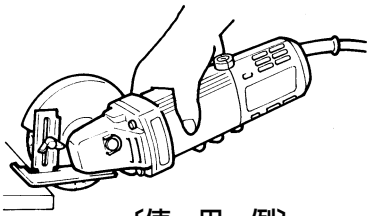
(1) スピンドルに、ホイルワッシャ、ダイヤモンドホイールの順に取付けます。
(2) ダイヤモンドホイールの上から、ホイルナットの凸部(φ15)をスパナ側に向けて、スピンドルに取付けます。
(3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



○ 切込み量の調整と使用例

ちょうねじをゆるめて、
切込み量を調整します。





〔使　用　例〕

点検、手入れについて

⚠ 警　告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

●機体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

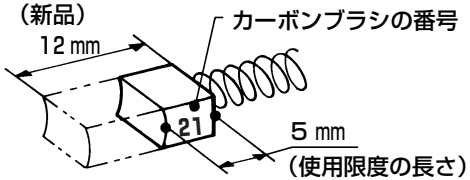
●取付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

●カーボンブラシの点検・交換

カーボンブラシは消耗品です。
長さが使用限度になりましたら、新品と交換してください。

〔点検・交換のしかた〕
マイナスドライバーでブラシキャップをはずしますと取り出せます。



交換の際は必ず「日立カーボンブラシ21番」とご用命ください。

■保管場所について

次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかかったり、湿気のある所。

仕　様

使用電源		単相交流50／60 Hz共用　電圧100 V
トイシ寸法	外径	100 mm
	厚さ	4 mm、6 mm（レジノイドトイシ）
	穴径	15 mm
無負荷回転数		12000 min^{-1}｛12000回／分｝
全負荷電流		5.9 A
消費電力		560 W
モーター		単相直巻整流子モーター
質量		1.6 kg（コードを除く）
コード		2心キャブタイヤコード1.8 m

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

- ディスクグラインダの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

ディスクグラインダの相談と修理の窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

ディスクグラインダについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

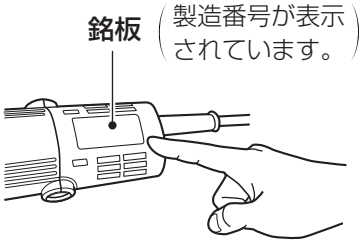
窓　口	所　在　地	支店(部)名	電　話　番　号
全　国			
相 談 と 修 理	港　　区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道			
相 談 と 修 理	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島			
相 談 と 修 理	仙 台 市	東　　北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以東			
相 談 と 修 理	港　　区	東　　京	(03) 5783 - 0629
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西			
相 談 と 修 理	名古屋市	中　　部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井			
相 談 と 修 理	金 沢 市	北　　陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山			
相 談 と 修 理	大 阪 市	関　　西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口			
相 談 と 修 理	広 島 市	中　　国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知			
相 談 と 修 理	高 松 市	四　　国	(087) 841 - 6191
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄			
相 談 と 修 理	福 岡 市	九　　州	(092) 621 - 5772

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前 9：00 ～ 午後 5：00）
「電動工具ホームページ」　http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき便利です。



お買い上げ日	年　　月　　日
販　売　店	電話番号
製造番号（No.）	

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15 -1（品川インターシティ A 棟）
電話（03）5783 - 0626（代）

510
部品コード　C99116702